

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

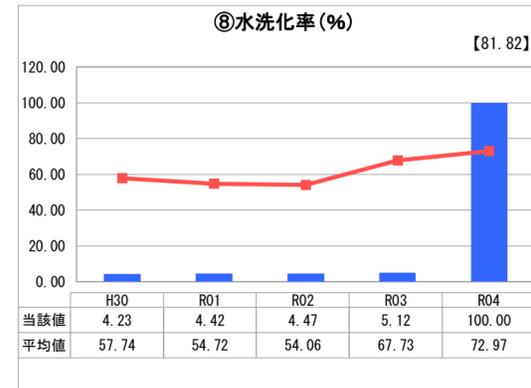
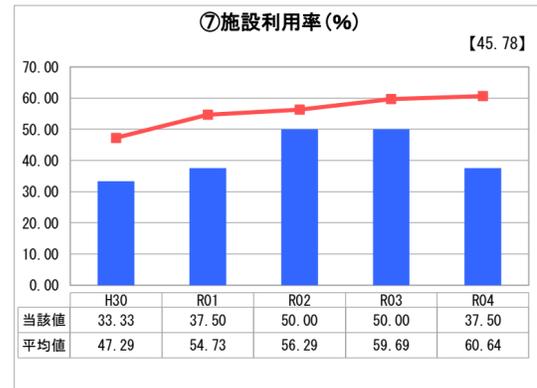
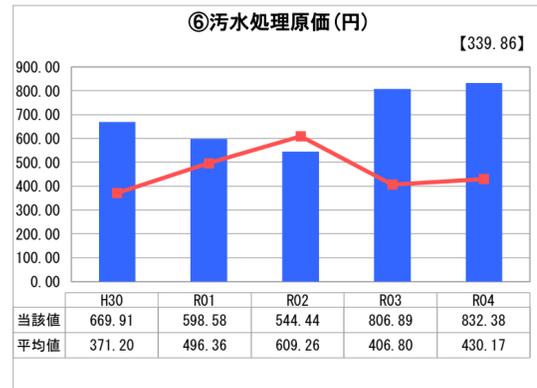
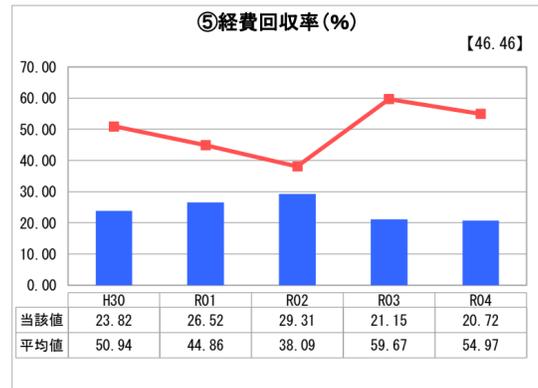
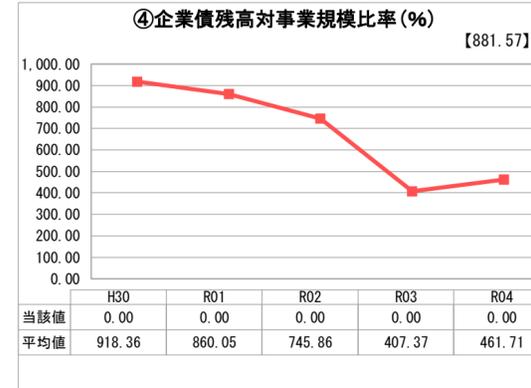
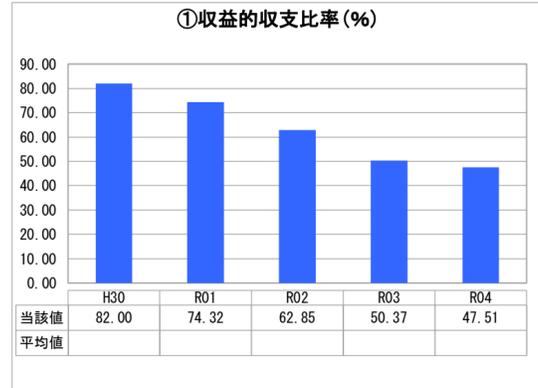
北海道 中川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.85	100.00	3,175

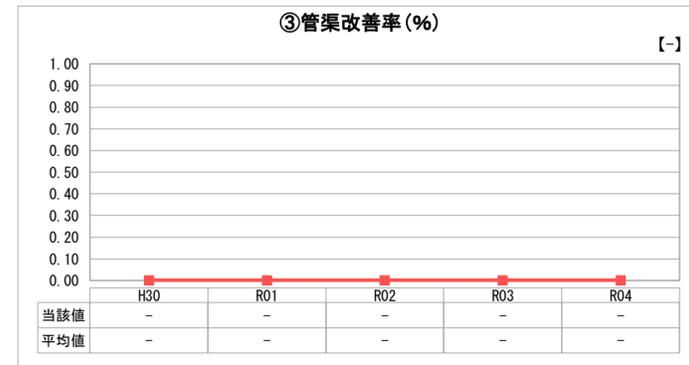
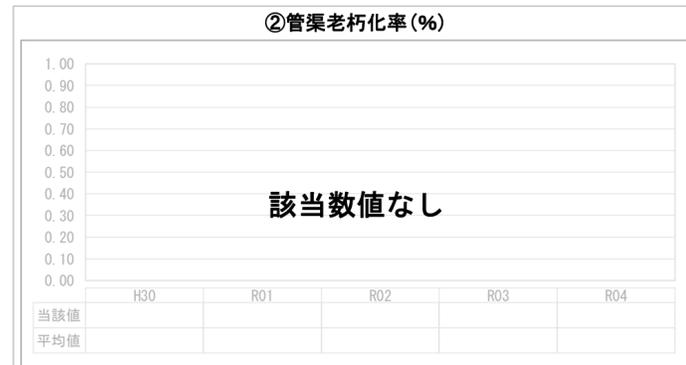
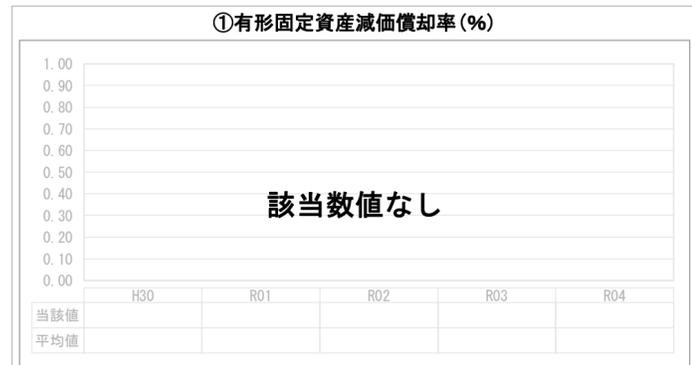
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,336	594.74	2.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11	593.95	0.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本町の個別排水処理事業は、類似団体平均と比較すると汚水処理原価が高い為、経費回収率が低い水準にあり、収益的収支比率が伸びない状況となっている。個々に設置する浄化槽の汚水処理原価は高くなっており、健全性・効率性が難しい状況である。なお、水洗化率の増加については、数値の精査によるものであり、現在排水処理区域内に対する水洗便所設置済人口は100%となっている。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理（保守点検）を実施し長寿命化を図っていく。

### 全体総括

本町は令和3年度に料金改定を行い収益の増収を図ったが、人口減少等が進む中で使用料収入の増加が見込めない状況にあり、一般会計からの繰入により運営している状況にある。維持管理等のあり方などを見直し、将来に向けた経営の見直しをしていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。